

私たちにできること。

一宮市立浅井中学校 三年 吉永 絢 よしの あや

「平和」この言葉を聞いてみなさんは何を
考えますか。戦争がなく、穏やかに日常生活
を過ごせることと私は考えます。今の日本は
戦争がなく、多くの人が穏やかに生活できて
いると思います。みなさんは、今から約七十
八年前日本で何が起こっていたか知っています
すか。一九四五八年八月六日広島に一回目の原
爆投下、そしてその三日後、八月九日長崎に

二回目の原爆が落とされました。この出来事
を知らないという人は少ないと思います。原
爆が落とされたことによつて、人々に大きな
害を与え、広島では約十四万人、長崎では約
七万人以上に上る多くの人の命が奪われま
した。この事は絶対に忘れてはいけない事
そして知らない人たちに分かってもらえよ
うに知っていきること大事だと
思いました。今の日本では戦争は起こって
ないけれど、他の国では内戦や地域紛争が絶

いています。また、戦争だけではなく、難民問題で生活に苦しむ平和な生活をおくれないという人々も中にはいます。そのような生活に苦しんだ人々に、私たちができる事は、なんだと思えますか。食糧や水の支給、居住スペースや衛生環境を整えたトイレなどの設置、医療体制の確保と治療などの支援が望まれています。二の問題全てを私たちが解決するのほど、難しいことだと思います。難しいからやらなければ、まかす自分たち、古着や本などの物を寄付する、難民について理解を深めて、それをみんなに伝えていくことなど、私たちにできることは、考えてみれば意外とたくさんあると思います。まずは、自分から、まず、その事を一人一人の行動としていけば、世界は少しずつ、生活をおくることができると思っています。また、日本では平和のために貧困、地球環境問題、水

衛生、保健など地球規模課題に積極的に取り
組んでいゝるようぞす。みんなが笑顔で過
安心して家族や友達と一緒に日常生活を暮ら
していくには、まずは国のルールや身近なル
ールをしっかりと守るとともに、治安も維持する
と争いや戦争がないことなどによつて暮らし
ていけると思ひます。まずは、平和のために自
分たちがかぞすような事を考へてそれを行動に
うつしていくことか大切だと思ひました。私
かぞすような事を考へ、行動にうつしていま
たいと思ひました。